



百

人

一首

仙老法曲集傳

三

特別
3945



特

門八利4
號 3945
卷

大正七年十月十五日
室井平藏氏
贈

百一首 ヒラクミンソクシユ



天智天皇 ニニ

秋の日のかり シトニヤウニヨム

り衣はあけり ツ

持統天皇 ツ

よきそ ツ

し ツ

○ 標本丸 ニニ

尾の

たが

山邊赤人

里

ゆ

振丸太

れ

る

冷中納言公持

鶴とてをふとくになく霜
— 鶴とてをふとくになく霜

○ 安部仲丸

あやめ原ゆき[○]ま[○]る[○]れ[○]ま[○]る[○]
こ[○]ま[○]れ[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]

○ 瓦撰法師

ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]
ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]

小師小町

ふのまはらうに[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]
わ[○]ら[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]

輝丸

ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]
ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]ま[○]る[○]

冬旅管

初四原八十[○]つ[○]わ[○]け[○]し[○]清[○]く[○]

今一は清けよ海を舟はう舟

脩正遍照

らば風雲はくはらひつらつらよ
いそめのまごころつらつら

湯成院

古今序ニテハスム

はくはらひつらつらよ
いそめのまごころつらつら

河原左大臣

清奥の志はくはらひつらつらよ
いそめのまごころつらつら

光孝天皇

らば風雲はくはらひつらつらよ
いそめのまごころつらつら

中納言行平

をみればまごころつらつらよ
いそめのまごころつらつら

在原業平朝臣

和イテ不用

未二テ四前

子平振神代々三つ二比高河
あうられなありのうら

藤原敏行朝臣

信江志まきいふと波取らんや
ゆめはなほ人わらぐ新舞

伴保

歌波うきうかき昔乃ゆ結

あまはよむらひく

モトヨシノミ 元良親王

ゲンツマツシコウ

徒想れんはるたな歌波か系

男とらうてもあまのしとく思

系性法師

今こしおひき平小吉月

ありあは月をたひくつ

文倉康秀

通打

吹^レく^レに^レ秋^ノ草^ノ本^ノ枯^レれ^ルは
ムトツノ間ニヨム
じ^レべ^レ山^ノを^レく^レあ^レく^レこ^レい^レかん

大江千里

月^ノ光^ヲ統^レべ^レち^ツに^レゆ^レく^レせ^レり^レは
ら^ノつ^レあ^レを^レく^レあ^レる^レ秋^ノう^レら^レは^レせ^レり^レは

菅家ケ用
カイ

世^ノに^レあ^レさ^レも^レう^レあ^レい^レは^レあ^レら^レし^レは
も^レみ^レち^ツの^レあ^レら^レた^レ神^ノを^レま^レた^レく

三條大臣テオツ此間ニヨム口傳アリ

名^ノあ^レら^レた^レう^レた^レ坂^ノの^レあ^レら^レし^レは^レあ^レら^レし^レは
を^レく^レあ^レら^レた^レう^レた^レ坂^ノの^レあ^レら^レし^レは^レあ^レら^レし^レは

貞信テエ

小^ノ倉^ノ山^ノを^レく^レあ^レら^レた^レう^レた^レ坂^ノの^レあ^レら^レし^レは^レあ^レら^レし^レは
あ^レら^レた^レう^レた^レ坂^ノの^レあ^レら^レし^レは^レあ^レら^レし^レは

中納言兼輔

み^レか^レた^レう^レた^レ坂^ノの^レあ^レら^レし^レは^レあ^レら^レし^レは
あ^レら^レた^レう^レた^レ坂^ノの^レあ^レら^レし^レは^レあ^レら^レし^レは

あつちきとてのあつちきとて

源宗二朝臣

あつちきとてのあつちきとて
あつちきとてのあつちきとて

元内祈恒

あつちきとてのあつちきとて
あつちきとてのあつちきとて

○ 古くは空
冷 在名ハニコレ

あつちきとてのあつちきとて
あつちきとてのあつちきとて

坂之是判

あつちきとてのあつちきとて
あつちきとてのあつちきとて

春道列樹

あつちきとてのあつちきとて
あつちきとてのあつちきとて

紀友則

久世結文のつけささきの甲
— つう海なく花をちり流

藤原具風

早稲をうりて知人—
朽もすう—の友な—
紀貫之

人—
—

—
—

清原深吉文

—
—

文金朝康

—
—

—

わきまの身とけ思ふは物言
人志命乃行くはさうれ

泰政等

深芽生れ小節乃一はさうれ
あやうそなたの志意地

平意威

あやうそなたの志意地
ものやうそなたの志意地

天牛忠見

あやうそなたの志意地
あやうそなたの志意地

後原元補

あやうそなたの志意地
あやうそなたの志意地

折津納言教忠

あやうそなたの志意地

じういものなれん^{色用}に^一ゆると^一利

研^{ナリ用}中^子納^子之^子勢^子忠

あふと^〇結^〇絶^〇て^〇ち^〇く^〇に^〇ち^〇く^〇ふ

人^〇をも^〇男^〇も^〇も^〇恨^〇ざ^〇ら^〇り^〇

謙^{ハトツ}徳^ハ心

え^〇ん^〇ま^〇り^〇あ^〇き^〇人^〇に^〇ち^〇も^〇ほ^〇で

子^〇母^〇の^〇つ^〇づ^〇め^〇成^〇忠^〇へ^〇う^〇邦

曾^ハ孫^ハ好^ハ忠^ハ

中^〇え^〇乃^〇と^〇と^〇流^〇不^〇船^〇人^〇托^〇を^〇て

ゆ^〇く^〇束^〇も^〇一^〇ら^〇ぬ^〇意^〇め^〇ら^〇れ

魚^{ケイ}慶^〇法^〇作^〇

屋^〇へ^〇む^〇ら^〇く^〇は^〇れ^〇ふ^〇宿^〇だ^〇り^〇は

人^〇し^〇く^〇は^〇く^〇孫^〇秋^〇の^〇身^〇の^〇分^〇り

源^ハ重^ハ心

か^〇せ^〇を^〇み^〇く^〇心^〇を^〇し^〇浪^〇の^〇身^〇の^〇身^〇
く^〇け^〇く^〇物^〇を^〇み^〇み^〇以^〇て^〇邦

人中ス公用に徳宣トクノノブの臣

みき守清ミキモツキヨの臣と古書コショにまじりて

藤原義孝フジワラノヨシタカ

長ナガくもあはれかゝりしるゝ後人ノチノヒト

藤原実方フジワラノサネカタ

かゝりしるゝまじりての臣ノチノヒト

さゝしるゝ那ナもみれりミレリ

藤原道信フジワラノミチノブ

西ニシの臣ノチノヒトにみれりミレリものモノはハさサしるシるル

右ミダリの道ミチ綱ツナ母ハハ

なげよつて結ムスむるムスむるムスむるムスむるムス

儀ノリ同トウ之ノ母ハハ

目せしむる所未だしあはれ
今日もかきりた命やせむ

大納言三位

今もかきりた命やせむ
あはれしむる所未だしあはれ

和泉式部

あはれしむる所未だしあはれ
今日もかきりた命やせむ

兼式部

あはれしむる所未だしあはれ
今日もかきりた命やせむ

大貳三位

あはれしむる所未だしあはれ
今日もかきりた命やせむ

和深湯門

あはれしむる所未だしあはれ
今日もかきりた命やせむ

相換

恨もつらき神さよあはれか
ふいふらたし名をそそ^不れ

大僧正行書

徳もにあはれをさくふさくら
ふれより外ありふんもた

月防内侍

よのちもふさくらからる^小枕

あひたりきそそ名くらけはれ

三條院 ヨシセ前ニアリ

心もつら^{うき用}くしにけんは
ふらあそふ書中にも月形

能周法師

あつ吹くむ流さる山の^ツお^ッが
立田結川乃ありきこ^ッら

良暹法師

さむし^ニ一^ニ中^ニ一^ニ宿^ニと^ニ立^ニて^ニ詠^ニハ^ニ
つ^ニく^ニも^ニた^ニれ^ニし^ニ秋^ニ乃^ニ夕^ニぐ^ニれ

冷^ニ大^ニ納^ニ言^ニ絶^ニ信^ニ
ケイシニイ

夕^ニぐ^ニれ^ニい^ニか^ニさ^ニる^ニ乃^ニ指^ニを^ニま^ニる^ニつ^ニは^ニ

あ^ニの^ニも^ニあ^ニや^ニ小^ニ秋^ニ風^ニう^ニゆ^ニく

秋^ニ子^ニ内^ニ親^ニと^ニ家^ニ紀^ニ傳^ニ
イシヨニス

半^ニに^ニ圓^ニを^ニく^ニし^ニ乃^ニ深^ニを^ニあ^ニる^ニ浪^ニハ

あ^ニも^ニや^ニ神^ニを^ニあ^ニら^ニせ^ニし^ニ亦^ニ此^ニ礼

源^ニ後^ニ賴^ニ朝^ニ臣^ニ
ケウボウイ

さ^ニゆ^ニ乃^ニ尾^ニを^ニさ^ニる^ニ笑^ニり^ニ引^ニり

あ^ニや^ニあ^ニら^ニは^ニい^ニき^ニし^ニ海^ニを^ニあ^ニら^ニん

源^ニ後^ニ賴^ニ朝^ニ臣^ニ

宇^ニる^ニを^ニ秋^ニ今^ニを^ニ初^ニ漱^ニ乃^ニ山^ニ風^ニと

さ^ニら^ニる^ニか^ニれ^ニ東^ニは^ニ行^ニら^ニぬ^ニ物^ニを

藤^ニ原^ニ基^ニ俊^ニ

奥^ニを^ニし^ニあ^ニら^ニり^ニく^ニあ^ニら^ニし^ニ命^ニを^ニあ^ニら^ニく

あはれとみ枯れもつねの

冷法性寺念道花言白寂

も乃原こたはてたれは久の
手ふれおつふと津し浪

宗波院

瀬をこやとさそせ。海流
わきしとて末しあつし

源兼昌

淡路一海のみ海をながる
しとむすしとて海に乃言

丸京ち久の物

秋風とたれもてとさつし
あはれつれ月と秋乃とけ

待賢の院堀の

あつとそつしとてとさつし
みとれしとて秋のものとけ

後徳大寺九念

郭公^ノ時^ノつ系^ノか^ノと^ノち^ノり^ノい^ノれ^ノハ
多^クも^ノ明^ク志^ス月^ノ心^ノの^ノら^ノれ^ノ系^ノ

道周法師

只^シ心^ノ向^ク母^ノ命^ノハ^ノあ^レも^ノの^ノを^ノ
う^キに^キ人^ノ心^ノは^ノた^レも^ノせ^レり

皇太子^ノ信^ノ家^ノ大^ノ史^ノ法^ノ藏^ノ

一^ノ中^ノよ^クる^ノう^ノた^レれ^ノ只^シい^ノ入^レ

出^レる^ノ行^クく^ノ母^ノ康^クな^レら^レれ

後京^ノ法^ノ補^ノ朝^ノ臣^ノ

可^ク人^ノ又^ク世^ノら^レり^ノや^ノ志^スれ^レり^ノれ^レり^ノ
し^レも^ノ思^フし^レも^ノ心^ノし^レも^ノあ^レり^ノま

後^ノ通^ノ法^ノ師^ノ

終^ニ事^ノも^ノ終^ルり^ノし^レあ^レけ^レり^ノら^レぬ
福^クや^ノも^ノ心^ノも^ノる^ノる^ノ人^ノ法^ノ師^ノも^ノ分^ルり

あ^レり^ノ法^ノ師^ノ
西^ノ巻

なげ、東へはや、物をたれは
かゝら、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

宗蓮法師

急、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

さう、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

皇太子別当

ミコトノカミ

難波、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ
才、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

式子内親王

玉、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

一、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

般門院大輔

又、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

あ、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

後京極政大臣

蒼、ハナハナハナハナ、ハナハナハナハナ

新くくはむらりかも移心

二條院ヨシノ僧ニ条三河岐

月神のひて小足くお仲乃如
人かしくねわしくちもた

冷謙念老大臣

よのちかきりりも那流く
海古ホ小舟も細スミ子コなり也

冬終枯強

みりせく山も枯風小舟もく
るてきしくらも持なり

前大僧正ニ慈ニ秀

杉わけたきよの氏もたれ
月く門松も雲うつれ神

合道ニ前ニ夜ニ古ニ

ふゆふあ〜はなもも高たて
あもく〜もあ〜もり

○ 後中納言定家 同藤 定家

生息人今もその御志海御打保
全くや藤原も身代とされし

○ 後二位家隆 家隆

風持よりたゞもふ小はらと云ふ
と云ふ事若しと云ふ事

後鳥羽院

木も朽ちてさうさうありあらん
た

す成りしゆ介しもの事ふ事

順徳院

百歳やゆきき朝と云ふ事
たをあらう事

正し
公利

右百人一首二條家之清濁并声
作者之讀曲等強依有清懇望
玄旨法印明心居士先師長孝的々
相承之趣無所改以朱書入令
附与之訖猥不可有他見漏脱
者也

風觀窓長雅

晋時貞享四丁卯曆臘月去辰

西尾氏
安言文



貞享二乙

仲秋十日 書之

橋軒子

安言



〇ツ北印スツレチノ讀曲ハ

〇北印ニ条家之丑哥

冷北印冷泉家之丑哥

虹スツスツ
藤スツスツ

救水カスツスツ

通洞母 羽和

三目母 同上

急象 〇〇

言
き
き
き
き

以
以
以
以
以

新
の
志
や
は
作



Handwritten text on a small rectangular slip of paper, possibly a title or index, with some faint characters visible.





ウイキ
イイ